

フランクリン・J・シャフナー

Franklin J. Schaffner

生年月日 1920/05/30

出身地 日本／東京

没年 1989/07/02

【バイオグラフィ】

■本名はFranklin James Schaffner。父が宣教師で布教活動のため日本に滞在していた時に生まれる。その父が6歳の時に死亡。母と共にアメリカに戻る。大学を卒業後海軍に入隊。戦後、CBSに入社してディレクターとなり、二度のエミー賞を受賞。61年より「弁護士プレストン」などTVシリーズの演出を担当。63年の「七月の女」で劇場映画監督デビューした。67年の「猿の惑星」で世界にセンセーションを起こし、70年の大作「パットン大戦車軍団」で監督賞などアカデミー賞7部門を受賞した。以後、「パピヨン」、「ブラジルから来た少年」などの異色作・大作を手掛けた。89年死亡。

【フィルモグラフィ】

スフィンクス (1980)	監督, 製作総指揮
ブラジルから来た少年 (1978)	監督
海流のなかの島々 (1977)	監督
パピヨン (1973)	監督, 製作
ニコライとアレクサンドラ (1971)	監督
パットン大戦車軍団 (1970)	監督
猿の惑星 (1968)	監督
ダブルマン (1967)	監督
大將軍 (1965)	監督
最後の勝利者 (1964)	監督
七月の女 (1963)	監督